

# 「この仕事やっててよかったエピソード」 ワークショップ

2024年10月26日（土） 15:00～17:00

**主催：**ソーシャルアクションアカデミー6チーム

（チームメンバー） 浅山、石山、磯崎、太田、小櫃、枚田、  
山田、若林、渡辺

## <本日のスケジュール>

- 15:00～15:05 本日のスケジュール説明
- 15:05～15:10 ご挨拶 & 本ワークショップのゴール目標
- 15:10～15:20 S A Aメンバー自己紹介
- 15:20～15:30 アイスブレイク  
参加者自己紹介
- 15:30～15:35 「この仕事やっててよかったエピソード」趣旨説明
- 15:35～15:45 個人ワーク（適宜休憩）
- 15:45～16:25 エピソード共有 & 質問・意見交換
- 16:25～16:50 今後のスケジュール & アウトプット意見交換
- 16:50～17:00 クロージング
  - ①感想共有
  - ②アンケート回答

# 御挨拶 & 本ワークショップのゴール目標

非営利組織とともにリアルな社会課題解決に挑戦する経験と  
エキスパートによる講義やフィードバックを通じて  
ビジネススキルを磨くことを両立する、  
**超実践型アクションラーニングプログラム**です。  
約6ヵ月間のプログラムを通じて、社会課題を可視化したり、  
課題解決につながる実践的なチャレンジに取り組んでいきます。

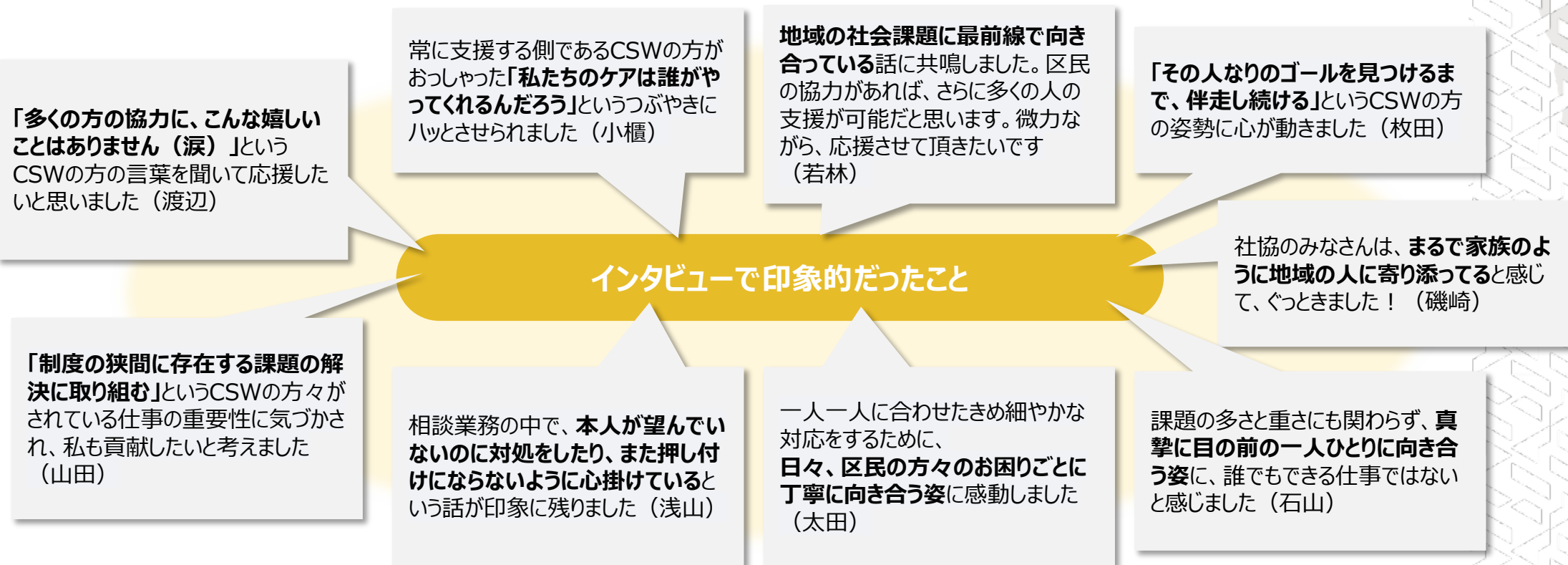
「ソーシャルアクション」の方向性

課題の実状を可視化し  
ひろく共有するための社会調査

課題解決につながる  
新たな事業・活動の試行や実践

# 渋谷区社協との事前打ち合わせから感じたこと

- SAAプログラムを通して渋谷区社協の4名の地域福祉コーディネーター（CSW）の方々へインタビューする機会をいただき、渋谷区の地域課題について、またそうした課題にCSWの方々がどのように取り組んでいるかを直接伺いました。



身近で起こっている社会課題（高齢化、居場所づくり、引きこもり、ゴミ問題等）そのものへの驚きや興味とともに、**CSWの皆さんが少人数で難しい課題に真摯に向き合う姿**に衝撃を受けました。また、チームメンバーの大多数がこのプログラムに参加するまでCSWのお仕事を知らなかったため、**社会課題の解決を支える側の方をテーマに何かしたい**という想いを強く持ちました。

## 他地区社協とのインタビューから聴こえてきたこと

- 前述のとおり、今回の我々チームのテーマ選定にあたっては、渋谷区社協CSWの方々との出会いがスタートでしたが、進めていくにあたり、貴所を始めとした他地区社協でも同様の課題があるのか、はたまた全く別次元の悩みを抱えていらっしゃるのか、今回の活動の中で深掘りしてみようということになりました。
- 以下に、我々がこれまでインタビューさせていただいた方々からお聞きした中で、印象に残った「声」を記載させていただきます。

「窓口には多種多様な相談事がくる。もっと担当地域に出て、入り込んで色々やっていきたいが、  
物理的な限界もあり、そこまで手が回っていない」

「社協の認知度は(当該)区役所の中でも低い、と思う」

「この仕事は顔を覚えていただくことが大事なので。あの人だったら相談してもちゃんと答えてくれる、  
と思ってもらうことが大事」

「なにかやりたいとおもっていることに関して、時間がかかりすぎないように、スピード感を持って対応。  
情報収集、仕組みづくりは大事」

「昨年、市民に活動を案内するマグネットを配布した。また、ちらしをとっておいてという方も多い」

「社協が地域にこんだだけ貢献しているんだよ、というアピールが必要」

**➡➡➡ 地域の方々からの情報収集や、スピード感をもった対応に繋げる意味でも、社協の方々の認知度を向上させることは今後の大事な施策と考えます。**



# 本ワークショップのゴール目標

- チームメンバーがコーディネーターの活動内容を知り、心を動かされ、応援したいと思った経験から、活動内容をより広く発信することで、コーディネーターの皆様が活動しやすい環境をつくり、ひいては住みやすい地域環境づくりに貢献したいと考えています。

## 課題

- 区民が、身近な地域で活動しているコーディネーターの皆様の存在や活動内容を、認識・理解できていない

## 影響

- 区民が困ったときに助けを求められない
- コーディネーターの皆様が地域で活動するときに、支援対象者との関係構築に必要以上の時間を要する（コーディネーターとは何者かということから説明する必要がある）
- 地域参画を促す働きかけの影響力が限られてしまう（ネットワークが狭いと、人と人を繋げる役割を果たしきれない）

SAAのメンバーがコーディネーターの活動内容を知り、皆様の応援団になりたいと思ったように、多くの市民も、コーディネーターの活動内容を知れば、応援したい（困ったときには頼りたい）という気持ちになるのではないかと

## 目標

業務の中で一番印象に残っている瞬間を皆様の間で出し合い、そのエピソードを対外的に発信することで、**コーディネーターとその活動への理解度や共感度を上げ、住みやすい地域環境づくりに貢献する**

# アウトプット・サンプル（案）

～詳細は後半パートで意見交換させてください～

- 実際のアウトプットは各社協で運用している広報媒体や日常のコミュニケーション方法、皆様の「こんなのがあったらいいな」に合わせて、ご希望も伺いながら使いやすいコンテンツ・形態にアレンジしてお渡しさせていただきます。

## 組織内部向け ー継続的なメンバーのやりがい確認

- 内部研修用コンテンツ  
（振り返りのワークショップなど）
- ワークショップ実施報告



## 対外向け情報発信、コミュニケーション用コンテンツ ーコーディネーターのことも知ってもら

- イベントや相談窓口チラシの作成・配布
- コーディネーターの紹介リーフレット（区民とのコミュニケーション、採用等）
- SNSでの発信用コンテンツ作成
- ラジオ番組（渋谷ラジオ）での発信
- 報告書（社協ごと/複数社協横断）の作成

## 他組織との連携 ー自組織を超えたネットワーキング

- 他地区コーディネーターとの交流会





# アウトプット・サンプル（案）

～詳細は後半パートで意見交換させてください～

- 実際のアウトプットは各社協で運用している広報媒体や日常のコミュニケーション方法、皆様の「こんなのがあったらいいな」に合わせて、ご希望も伺いながら使いやすいコンテンツ・形態にアレンジしてお渡しさせていただきます。

## 組織内部向け

### ー継続的なメンバーのやりがい確認

- 内部研修用コンテンツ  
（振り返りのワークシ
- ワークショップ実施

・本ワークショップの  
報告書  
・（仮称）社協白書  
・パターンランゲージ

## 他組織との連携

### ー自組織を超えたネットワーキング

- 他地区コーディネーター

・本ワークショップを  
活用した交流会の開  
催（都社協への提  
案）

## 対外向け情報発信、コミュニケーション用コンテンツ

### ーコーディネーターの知ってもらう

- イベントや相談窓口チラシの作成・配布
- コーディネーターの紹介リーフレット（区民とのコミュニケーション、採用等）
- SNSでの発信用コンテンツ作成
- ラジオ番組（渋谷ラジオ）
- 報告書（社協で

・チラシ、リーフレット  
・名刺代わりになるよう  
なもの  
・マグネット  
・HP用素データ提供  
・採用活動に使えるもの  
・CM（全社協で）



# アウトプット・スケジュール（案） ～詳細は後半パートで意見交換させてください～

- この仕事やってよかったエピソードのワークショップを実施した後に想定している「発信」には、内部向けと外部向けの2つがあります。
- また、今後の大まかなスケジュールは以下の通りです。

	組織内部向け	対外向け
<b>発信手法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他地区コーディネーターとの交流会</li> <li>● 内部研修（振り返りのワークショップなど）</li> <li>● 実施報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チラシの作成・配布</li> <li>● SNSでの発信</li> <li>● ラジオ番組（渋谷ラジオ）での発信</li> <li>● 報告書（社協ごと/複数社協横断）の作成</li> </ul>
<b>想定される影響</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新たな手法を外から学ぶことによる活動の発展</li> <li>✓ 他地区コーディネーターとの協力・相互連携の強化</li> <li>✓ 仕事の遣り甲斐の再確認・向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域内でコーディネーターの活動内容への理解度が向上し、活動内容に共感する区民の増加</li> <li>✓ 相互扶助ネットワークの拡大</li> </ul>



# S A Aメンバー自己紹介

# メンバー紹介・SAAに参加した動機

## 【凡例】

- ① SAAに参加した理由
- ② SAAに参加して新しく発見した事



- 様々な社会経験や趣味・特技を持つメンバーが、コーディネーターの皆さんを支援したいという気持ちから一つのチームを結成しました

### 浅山 (ITエンジニア)

- ① 所属している研究会で紹介があったため
- ② 多様な社会課題は身近にあり、そこに携わっている人によって社会が成り立っている

### 石山 (コンサル会社バックオフィス)

- ① 通常のプロボノとは違う経験ができそうと感じたため
- ② 社会課題は遠い誰かのものではなく身近にあるもの

### 磯崎 (ウェブ編集)

- ① 「人ごと」だった社会課題に向き合って、出来ることを探して行動してみたい
- ② 熱い心を持った人はたくさんいる！

### 小櫃 (エネルギー会社の管理部門)

- ① プロボノをやっている時から気になっていて
- ② 社協という存在、活動内容そのもの

### 太田 (人事コンサルタント)

- ① 自分の住む地域に今よりも愛着を持ちたいと感じたため
- ② 社会を良くするために行動している方が周りにたくさんいること

### 枚田 (食品関連の会社員)

- ① 前回プロボノに参加した際に、自分の力不足を実感したため
- ② 社会課題は人と人が結びつくことで解決できる問題がたくさんあるということ

### 山田 (営業・マーケティング)

- ① 社会課題解決に携わりたいため / 普段の仕事で関わらない方々とチームを組み、知見を増やしたい
- ② 小さな個人だからこそ大きな問題に挑めるということ

### 若林 (メンタルヘルス系のコンサル)

- ① 普段出会わない人と協働することのおもしろさを経験したいと思いました
- ② 社会課題への取り組みも、楽しくなければ続かないし、いいパフォーマンスも生まれない

### 渡辺 (区役所の指定管理の会社員)

- ① プロボノのスケールアップ（可視化／課題解決の向上）
- ② CSWはワクチンである。地域福祉の集団免疫として貢献している

# アイスブレイク



# 參加者自己紹介

本日まで参加の皆様方から自己紹介をお願い致します。

お名前、所属会社、部署、担当業務等を中心に、お一人2～3分程度でお話しいただけますでしょうか。

<本日まで参加いただいた方々>

〇〇区社協    △△課

様

様

××市社協    ◎◎課

様

# 「この仕事やっててよかった エピソード」趣旨説明

## この仕事やっててよかったエピソードとは？

一人ひとりが持っている大切にしたい、印象深いエピソード

- ① これまでの業務の中で一番印象に残っている瞬間を振り返り味わい、
- ② そして大切にしたいエピソードを仲間にシェアし、他者のリアクション・客観的コメントを通して、

改めてご自身の業務の魅力を再発見しましょう

## 【サンプル】会社員Oさんのエピソード紹介

### 「あんたみたいなヒトが会社にいたら、会社は当分安泰だ」

- **いつ** : 入社4年目、販売担当をやっていた時
- **誰と一緒にいるとき** : 担当店の社長
- **どこで** : 社長との打ち合わせ終わりの居酒屋で
- **エピソードを思い出す頻度** : 仕事で躓いたり、しんどくなった時はよく

当時担当していた担当店の赤字が続き、S S (=ガソリンスタンド) 運営含めた該社の経営全般の抜本改革を迫られ、その年の年末年始は連日、担当店に通いつめ、先方社長と二人で社長室に籠りきり、実行策を作成していた。

文字通り、寝食忘れて朝から晩まで二人で議論しながら資料を作成し、その資料で当社支店内で先方社長にも同席いただきプレゼン、実行策の社内了承にこぎつけた。

その後、半年間かけてこの実行策 (ex. S Sのソフト面改善、不採算S Sの廃止) を徹底実施し、当時で2億5千万強の合理化、改善に至った。

タイトルに書いた言葉は、この社内プレゼンが終わった日に、社長、当時の上司、私の3人で打ち上げをしようと食事に行った際に先方社長からかけていただいた言葉。

その当時は今の嫁さんと結納を交わし、年末年始は楽しもうかと話していた矢先の出来事で、嫁さんからはブウブウ言われながらも (= 振り返ると、その時は嫁さんと居るより社長と居る時間の方が長かった...)、何とかやりきった感があり、この一言で全てが報われた気分でした。

恥ずかしながら、飲み屋で普通に号泣してました (笑)

今の会社で働いている、自分自身の最後の矜持、みたいなモノです。



# 個人ワーク

(適宜休憩を取りながらすすめてください)

お手元の以下資料に記入をお願い致します。

「この仕事やってよかったエピソード」ワークシート

記入日： \_\_\_\_\_  
記入者： \_\_\_\_\_  
担当地域： \_\_\_\_\_

**エピソードのタイトル** \_\_\_\_\_  
※一番印象に残っている言葉などでタイトルを付けてください

いつ： \_\_\_\_\_

誰と一緒にいるとき： \_\_\_\_\_

どこで： \_\_\_\_\_

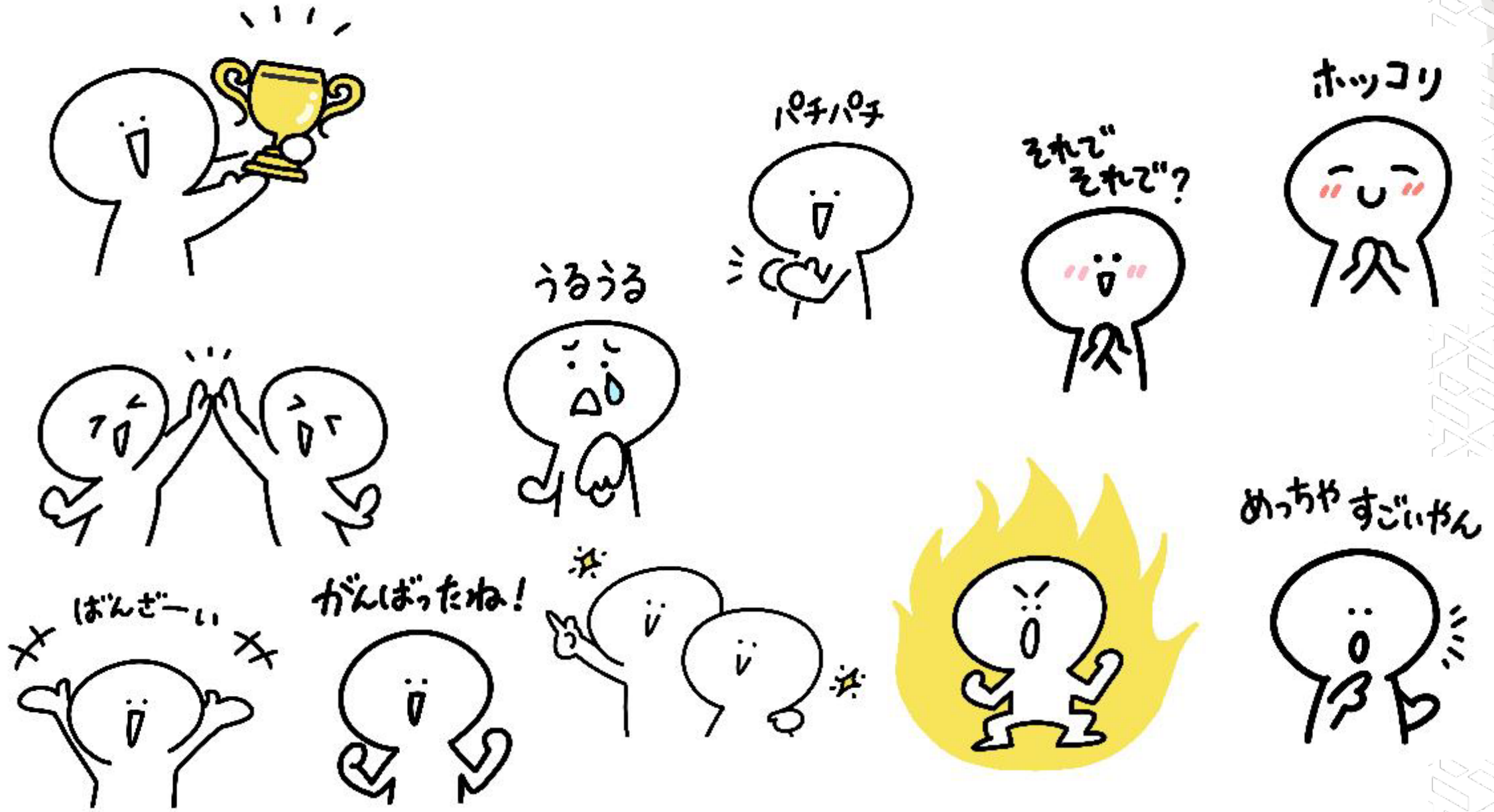
エピソードを思い出す頻度： \_\_\_\_\_

エピソードの詳細

# エピソード共有 & 質問・意見交換

参加者それぞれのエピソードをお聴きいただき、  
各エピソード終了後、お手元にお配りした  
「リアクションカード」の中から、ご自身の感想に  
近いものを一つ選んで胸の前に掲示ください。

# リアクションカードの種類





## <参加者披露エピソードタイトル>

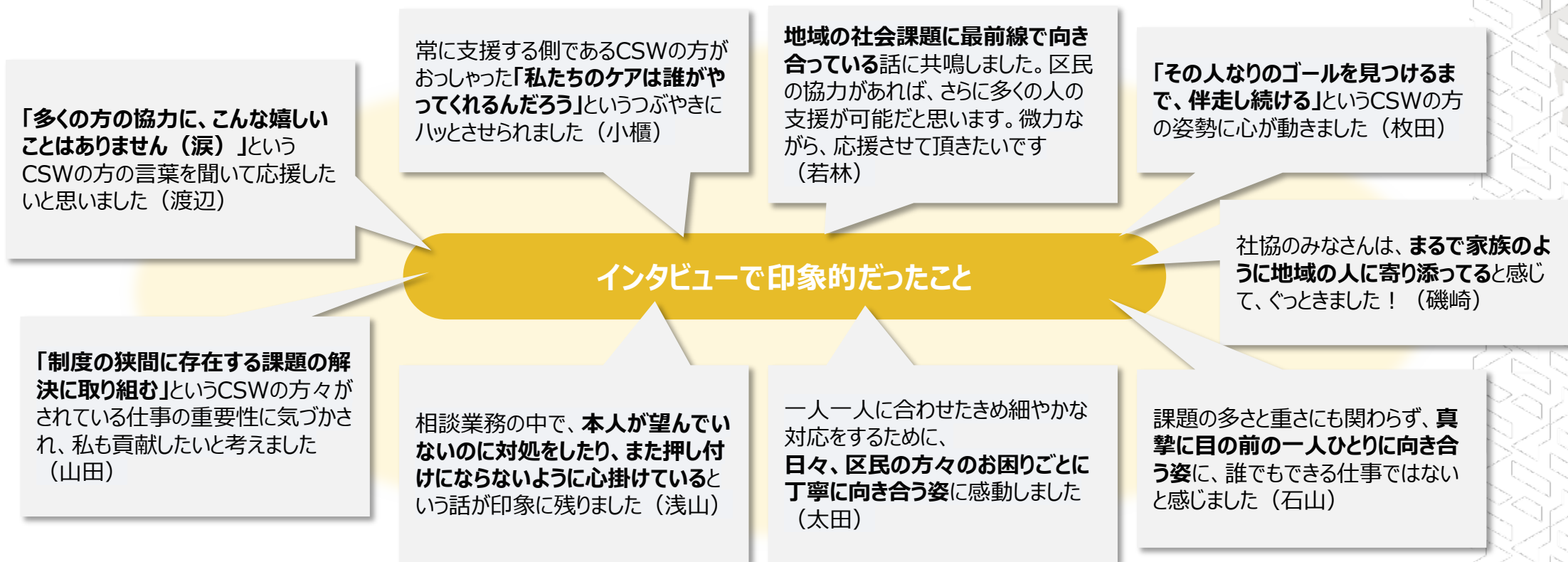
- さん 「ありがとうと言われた瞬間に感じた達成感」
- さん 「地域を知るためにはまず地域行事に出てこい」
- さん 「将棋ボランティアの対戦姿勢」
- さん 「力があるのに埋もれてしまっていた人」
- さん 「会社の小さな変革の積み重ね」
- さん 「怒ってきた人は笑って帰せ」

# 今後のスケジュール & アウトプット意見交換

# 渋谷区社協との事前打ち合わせから感じたこと

～前掲～

- SAAプログラムを通して渋谷区社協の4名の地域福祉コーディネーター（CSW）の方々へインタビューする機会をいただき、渋谷区の地域課題について、またそうした課題にCSWの方々がどのように取り組んでいるかを直接伺いました。



身近で起こっている社会課題（高齢化、居場所づくり、引きこもり、ゴミ問題等）そのものへの驚きや興味とともに、**CSWの皆さんが少人数で難しい課題に真摯に向き合う姿**に衝撃を受けました。また、チームメンバーの大多数がこのプログラムに参加するまでCSWのお仕事を知らなかったため、**社会課題の解決を支える側の方をテーマに何かしたい**という想いを強く持ちました。

## 他地区社協とのインタビューから聴こえてきたこと

～前掲～

- 前述のとおり、今回の我々チームのテーマ選定にあたっては、渋谷区社協CSWの方々との出会いがスタートでしたが、進めていくにあたり、貴所を始めとした他地区社協でも同様の課題があるのか、はたまた全く別次元の悩みを抱えていらっしゃるのか、今回の活動の中で深掘りしてみようということになりました。
- 以下に、我々がこれまでインタビューさせていただいたの方々からお聞きした中で、印象に残った「声」を記載させていただきます。

「窓口には多種多様な相談事がくる。もっと担当地域に出て、入り込んで色々やっていきたいが、物理的な限界もあり、そこまで手が回っていない」

「社協の認知度は(当該)区役所の中でも低い、と思う」

「この仕事は顔を覚えていただくことが大事なので。あの人だったら相談してもちゃんと答えてくれる、と思ってもらうことが大事」

「なにかやりたいとおもっていることに関して、時間がかかりすぎないように、スピード感を持って対応。情報収集、仕組みづくりは大事」

「昨年、市民に活動を案内するマグネットを配布した。また、ちらしをとっておいてという方も多い」

「社協が地域にこんだだけ貢献しているんだよ、というアピールが必要」

**➡➡➡ 地域の方々からの情報収集や、スピード感をもった対応に繋げる意味でも、社協の方々の認知度を向上させることは今後の大事な施策と考えます。**

# 本ワークショップのゴール目標

～前掲～

- チームメンバーがコーディネーターの活動内容を知り、心を動かされ、応援したいと思った経験から、活動内容をより広く発信することで、コーディネーターの皆様が活動しやすい環境をつくり、ひいては住みやすい地域環境づくりに貢献したいと考えています。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民が、身近な地域で活動しているコーディネーターの皆様の存在や活動内容を、認識・理解できていない</li> </ul>
影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民が困ったときに助けを求められない</li> <li>● コーディネーターの皆様が地域で活動するときに、支援対象者との関係構築に必要以上の時間を要する（コーディネーターとは何者かということから説明する必要がある）</li> <li>● 地域参画を促す働きかけの影響力が限られてしまう（ネットワークが狭いと、人と人を繋げる役割を果たしきれない）</li> </ul>

SAAのメンバーがコーディネーターの活動内容を知り、皆様の応援団になりたいと思ったように、多くの市民も、コーディネーターの活動内容を知れば、応援したい（困ったときには頼りたい）という気持ちになるのではないかと

目標	<p>業務の中で一番印象に残っている瞬間を皆様の間で出し合い、そのエピソードを対外的に発信することで、 <b>コーディネーターとその活動への理解度や共感度を上げ、住みやすい地域環境づくりに貢献する</b></p>
----	--



# アウトプット・サンプル（案）

- 実際のアウトプットは各社協で運用している広報媒体や日常のコミュニケーション方法、皆様の「こんなのがあったらいいな」に合わせて、ご希望も伺いながら使いやすいコンテンツ・形態にアレンジしてお渡しさせていただきます。

## 組織内部向け

### ー継続的なメンバーのやりがい確認

- 内部研修用コンテンツ  
（振り返りのワークショップなど）
- ワークショップ実施報告



## 対外向け情報発信、コミュニケーション用コンテンツ

### ーコーディネーターのことも知ってもら

- イベントや相談窓口チラシの作成・配布
- コーディネーターの紹介リーフレット（区民とのコミュニケーション、採用等）
- SNSでの発信用コンテンツ作成
- ラジオ番組（渋谷ラジオ）での発信
- 報告書（社協ごと/複数社協横断）の作成



## 他組織との連携

### ー自組織を超えたネットワーキング

- 他地区コーディネーターとの交流会





# アウトプット・サンプル（案）

- 実際のアウトプットは各社協で運用している広報媒体や日常のコミュニケーション方法、皆様の「こんなのがあったらいいな」に合わせて、ご希望も伺いながら使いやすいコンテンツ・形態にアレンジしてお渡しさせていただきます。

## 組織内部向け

### ー継続的なメンバーのやりがい確認

- 内部研修用コンテンツ（振り返りのワークシート）
- ワークショップ実施

- ・本ワークショップの報告書
- ・（仮称）社協白書
- ・パターンランゲージ

## 他組織との連携

### ー自組織を超えたネットワーキング

- 他地区コーディネーター

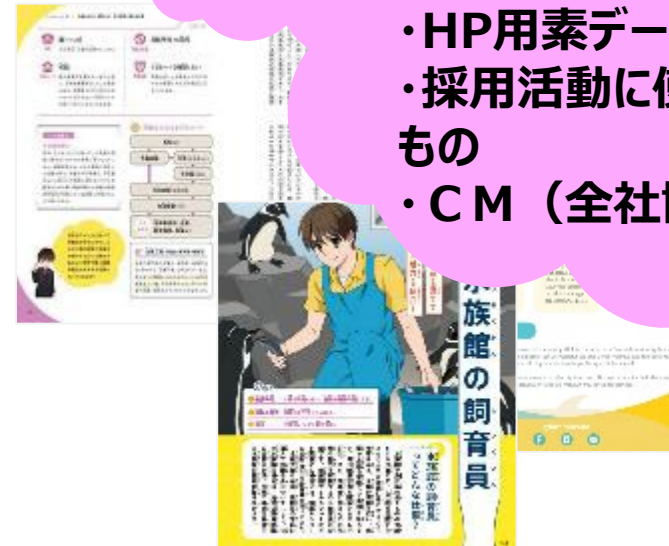
- ・本ワークショップを活用した交流会の開催（都社協への提案）

## 対外向け情報発信、コミュニケーション用コンテンツ

### ーコーディネーターのこころを知らせよう

- イベントや相談窓口
- コーディネーター（採用等）
- SNSでの発信
- ラジオ番組
- 郵便物

- ・チラシ、リーフレット
- ・名刺代わりになるようなもの
- ・マグネット
- ・HP用素データ提供
- ・採用活動に使えるようなもの
- ・CM（全社協で）



# アウトプット・スケジュール（案）

- この仕事やってよかったエピソードのワークショップを実施した後に想定している「発信」には、内部向けと外部向けの2つがあります。
- また、今後の大まかなスケジュールは以下の通りです。

	組織内部向け	対外向け
発信手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他地区コーディネーターとの交流会</li> <li>● 内部研修（振り返りのワークショップなど）</li> <li>● 実施報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チラシの作成・配布</li> <li>● SNSでの発信</li> <li>● ラジオ番組（渋谷ラジオ）での発信</li> <li>● 報告書（社協ごと/複数社協横断）の作成</li> </ul>
想定される影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新たな手法を外から学ぶことによる活動の発展</li> <li>✓ 他地区コーディネーターとの協力・相互連携の強化</li> <li>✓ 仕事の遣り甲斐の再確認・向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域内でコーディネーターの活動内容への理解度が向上し、活動内容に共感する区民の増加</li> <li>✓ 相互扶助ネットワークの拡大</li> </ul>



# クロージング

# ①感想共有

本日、ワークショップに参加いただいたの感想、皆さんのエピソードを聴いて感じたこと、等、なんでも結構ですので、ひとり一言ずつ、感想をお願い致します。

## ②アンケート回答



## アンケート回答のお願い

本日はお忙しい中、ワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございました。  
今後の参考とさせていただくため、以下のQRコードをスマートフォンで読み取っていただき、アンケートへのご協力をお願いします。  
設問数は14問、所要時間は約5分です。  
アンケートは匿名で実施され、集計結果は今後のアウトプット資料に反映させていただきます。皆様の率直なご意見をお聞かせいただければ幸いです。



以上で本日のワークショップは  
終了となります。

お忙しい中、ご参加いただき、  
本当にありがとうございました！！

# ソーシャルアクションアカデミー2024 活動報告資料について

本資料は、「ソーシャルアクションアカデミー」の参加者である、企業人・NPO職員・学生などのグループが作成した、“ソーシャルアクション”の成果物です。本資料を引用される際は、出典について、以下の例を参考に記載いただきますようお願いいたします。

## 1. 資料のフッタにコピーライトを表示

### 【記載例】

©ソーシャルアクションアカデミー  
©Social Action Academy

## 1. 引用箇所の末尾等に資料の出所を表示

### 【記載例】

資料：ソーシャルアクションアカデミー

資料：ソーシャルアクションアカデミー 2024年度活動報告書より

資料：認定NPO法人サービスグラント『ソーシャルアクションアカデミー』2024年度活動報告書より

## お問い合わせ

### 認定NPO法人 サービスグラント（担当：岡本・柴岡）

SAA@servicegrant.or.jp

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-2-10

〒541-0047 大阪市中央区淡路町2-5-16 淡路町ビル8階

<https://www.servicegrant.or.jp/>

「ソーシャルアクションアカデミー」は、非営利組織とともにリアルな社会課題解決に挑戦する経験と、エキスパートによる講義やフィードバックを通じてビジネススキルを磨くことを両立する機会を提供する、超実践型アクションラーニングプログラムです。認定NPO法人サービスグラントが主催し、企業人、NPO職員、学生など多様なメンバーがグループを組み、協力者の力を得ながら、自発的に企画したアクションに取り組んでいます。